

【Palau High School】

紹介：学校概要

アリー！（こんにちは！）パラオ高校へようこそ！本校は、国内で最大規模を持つコロールに位置し、文部科学省の目の前にあります。国内唯一の公立高校として、1962年から地域社会に貢献してきました。また、米国西部地域私立学校大学協会（WASC）認定を唯一受けている学校としても有名です。

全校生徒：過去5年間の新入学生の平均は650名です。他民族国家であるパラオを反映し、本校にも多種多様な民族出身の生徒が通学しています。90%以上の生徒がパラオ共和国出身ですが、フィリピン、マーシャル諸島、ヤップ島、台湾、そして太平洋上の島々からの生徒も通っています。

教職員・スタッフ：78名の教職員とスタッフの内、62名が教職員で残り16名がサポートスタッフとして勤務しています。教職員・スタッフの75%がパラオ出身ですが、19名の教員がフィリピン人で、日本人教員も1名います。

教科過程・指導：進学コースと職業訓練コースの2つのコースを設けています。進学コースでは、理化学、数学、英語、パラオ文化、社会科、保険、体育の指導を行っています。職業訓練コース（CTE）では、必修教科に加え、それぞれの生徒が専攻した分野の実践的な技術・知識・経験を身に付けられるコースです。CTEで学べる分野は、天然資源（農業）、事業情報、保険福祉サービス（観光業&歓待、医療健康）、生産管理工学（建設技術&自動車技術）、そして教養です。本校は2学期制で、1科目に毎日1時間半の時間が割り当てられています。2年生は1日職場体験が必修活動で、3年生になると5日間の職業指導を受け、4年生は1学期間の職業演習を行います。卒業までに27単位の職業訓練が必須です。

支援サービス：学習障害のある生徒たちには特別教育プログラムを通じて支援を行っています。「大学アクセス挑戦奨学金(CACG)」、「クラシック進学計画」、「数学&科学進学計画」、「人材検索」などの支援機関や助成金団体からの寄付によって放課後の個人指導、大学進学に向けてのカウンセリング、そして奨学金が生徒たちへ提供されています。これらのサポートはアメリカ政府からの補助金で成り立っています。他にも生徒たちの成長・発展を促進するための、カウンセリング、プライドクラブ、ジュニア政治家、そしてクローズアップ等の支援プログラムがあります。昼食は、給食管理業務計画により無料で供給されています。また、生徒たちが利用するスクールバスはパラオ文部科学省によって、キャンパス内での保健医療はパラオ保健省が管理する学校保健計画によって提供されています。